

こども議員が夢と希望を提案!

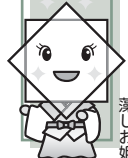
市長さん、いかがでしょうか!



第11回塩竈こどもゆめ議会が開催されました

11月8日、市内の小学6年生18人が「こども議員」として、塩竈のまちづくりを真剣に考え、市長と議論をしました。これまで10回の勉強会を行い、テーマの選定や意見・質問の整理、発言の練習などを行ってきました。2つの党の代表質問をご紹介します。

エッフェル党



源ねりか

提案

日本と海外の文化をどちらも知ることができるイベントを行いたいです。

私たちは、市内の観光案内をしました。その時に、観光で訪れる人は、どんな小さなことも知ろうとしてくれるので、「こだけのななし」のようなことも調べなくてはと思いました。

そこで、塩竈らしさを体感できる「みなと祭」の日に、藻塩を使った和菓子などの説明を英語で行ってはどうか。タブレットを使えば私たちでも意思疎通ができると思います。



また、A-LTの先生と授業以外でも遊べるようにしてほしいです。先生の国のことや、日本で不思議に思うことなどを知ること、交流の窓口になれば良いと思います。

市長からの回答

「塩竈と相手国の良いところを生かせる交流」を皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。それがきっかけで外国のまちと友情が芽生え、いつか友好都市ができると良いですね。

A-LTの先生は、8月から1人増え、3人になりました。授業の回数も増えたため、交流の機会が増えると思います。今回の提案をA-LTの先生に伝えたところ、とても喜んでいました。ぜひ休み時間などに話しかけてみてください。

今平党



源ねりか

提案

総合や社会の時間にネパールのことを勉強させてください。私たちは、同じ震災に遭ったネパールのために何かできないかと考えました。もっと多くの人がネパールのことを知り、「ネパール募金」を行ってほしいです。

また、月見小では、ペットボトルのキャップを回収してワフチンの寄付をしています。夏の暑い時期をペットボトル回収期間として学校を中心に、市民や企業も協力し、塩竈からの寄付としてはどうでしょう。

市長からの回答

6年生の社会科で3学期ごろに「我が国と関係の深い国」について調べ学習をします。調べた国を自分で選択することもできるようにします。ぜひ、ネパールのことを学び、その知識を募金などの社会貢献活動につなげていただきたいと思います。

また、月見小での取り組みは、父母教師会連合会を通し、市内の小中学校などにお知らせしたいと思います。

ところで、空き缶のプルトップを車いすに替えて施設に寄贈できる取り組みを知っていますか。集めたプルトップを市役所の売店やシルバ一人材センターに持ってきていただくことでこの取り組みに参加できます。一緒に頑張りましょう。



今平党
代表 佐藤瑞起さん
(月見小6年)

僕たちの党は、「世界を今よりも平和にしたい」という願いを込めて「今平党」としました。練習では、何度も何度も作文を書き、それが今回の提案内容になりました。僕たちの提案を市長が実現してくれそうで良かったです。



エッフェル党
代表 新岡奈那美さん
(二小6年)

私たちの党は、パリにある「エッフェル塔」をシンボルに国際交流を進めたいと考え「エッフェル党」としました。私は話すスピードが速いので、ゆっくりと話すように心掛けました。とても緊張したけれど、練習どおりに発言することができました。



問 生涯学習課 学習支援係
3651-2556